

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

「行政書士は、国民と行政とのきずなとして、国民の生活向上と社会の繁栄進歩に貢献することを使命とする」という行政書士倫理綱領に基づき、電子化に特に力を注ぎ、迅速・正確な書類の作成および提出をすることで、自社の業務効率化のみならず、お客様や行政機関など、すべてのステークホルダーの業務効率化への寄与を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に ☒)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	電子化による紙の使用量の削減	請求書・領収書・行政機関への提出書類を電子化 2024年 → 81% 2027年 → 95%
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域ボランティア活動(清掃)で地域社会貢献に取り組む	2024年 → 1回 2027年 → 2回
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	取り扱い業務の拡充および新規顧客の獲得	2027年までに取り扱い業務をあと10種類追加

<パートナーシップ>

行政機関・お客様・地域社会との連携をさらに強化し、課題の掘り起こしと共有を行い、それらの解決への取り組みを業務につなげ、地域経済・地域社会に貢献する。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。